

授業科目	栄養教育実習				実務家教員担当科目	-					
単位	1.	履修	選択	開講年次	4	開講時期	通年				
担当教員	浜谷 小百合										
授業概要	<p>実務家教員として、栄養教諭の実務経験を有した教員が、学校現場での実践経験を生かした授業及び栄養教育実習に関する指導助言を行う。栄養教育実習では、履修した教職科目等の理論や技術を基礎に、学校での食に関する指導を推進するために、学校教育全般の組織、運営、食に関する授業実践、学級経営等を体験する。また、児童生徒の人格形成、身体の成長と発達に貢献し、学校教育における食に関係する問題点等を発見するとともに、自己の望ましい教師像を形成し、食の指導に関わる教育実習生としての資質向上を目指し、教職に関する実践的、研究的能力や態度を養うことを目的とする。</p>										
授業形態	実習		授業方法	実習							
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>1. 食に関する指導における具体的な研究課題を発見できる。(DP2-1, DP3-1) 2. 自己の望ましい栄養教諭像を形成する。(DP1-1, DP3-1, DP4-1) 3. 教職に関する実践的・研究的能力を身につける。(DP1-1, DP1-2, DP2-1, DP4-2, DP5-1)</p>										
理想的レベル	<p>教職課程の科目で学んだ知識の全てを活用し、教育現場で応用・実践ができ、実習中に問題や課題を発見し、それを解決できる。また、教育実習において、栄養教諭としての指導力を深め、教育現場ではどのような栄養教諭が求められているかを理解し、自ら考えてそれを行動に結びつけることができる。</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合 (数値)			備考							
試験											
小テスト											
レポート											
発表 (口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物	40%			栄養教育実習日誌、実習の記録物等							
その他	60%			実習評価票 (実習校)、教育実習に対する積極的な参加姿勢等							
カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NT44115J
学習課題 (予習・復習)										1回の学習目安 (時間)	
実習校の打ち合わせ、実習期間の計画作成、事前学習、学習指導案作成、教材作成、授業記録作成、講話記録作成、実習記録 (日々) の記入等を行う。										1	
授業計画											
第1回	<p>主に小学校において以下の内容について、栄養教育実習を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校経営と学校組織活動 2. 児童生徒への個別的な相談、指導に関する実習 3. 学級活動および給食の時間における指導の参観と補助 										

	<ol style="list-style-type: none"> 4. 教科等における教科担任等と連携した指導の参観、補助 5. 給食放送指導、配膳指導、後片付け指導の参観、補助 6. 児童生徒集会、委員会活動、クラブ活動における指導の参観、補助 7. 食の指導に関する指導計画案、学習指導案の作成 8. 食の指導に関する教材研究と研修授業の実践 9. 校内における食に関する指導の連携・調整 10. 食の指導に関する家庭・地域との連携・調整の参観、補助
<p>テキスト</p>	<p>学校栄養指導論Ⅰ，Ⅱで使用したテキスト、栄養教育実習事前事後指導で配布した資料等</p>
<p>参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介</p>	<p>学習指導要領（文部科学省）、小学生用食育食育教材「楽しい食事・つながる食育」（文部科学省）、実習校で使用されている教科書等</p>
<p>課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>教育実習日誌を含む実習記録等については、評価後、個別にコメントを行い、返却します。</p>
<p>学生へのメッセージ・コメント</p>	<p>栄養教育実習に臨むためには、学習指導案の理解、作成方法、改善方法などを熟知し、模擬授業や教材研究も含めた事前学習を十分に行うことが必要です。教育実習では、子どもたちに対して教育的愛情や責任感を持って接すること、栄養に関する専門性を発揮することが必要となります。既習の教職関連科目や専門教育科目を十分に復習して、教師としての自覚を持って実習に臨んで下さい。</p>